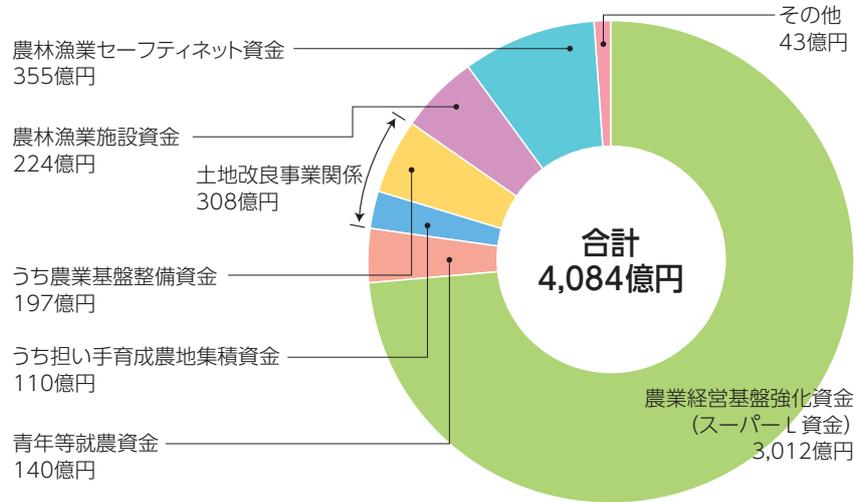


融資の状況と特徴

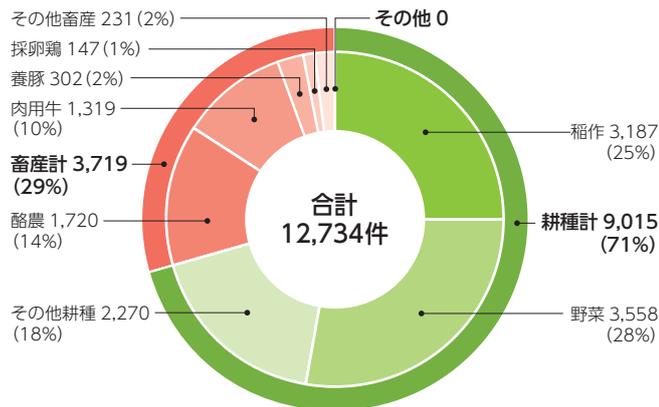
農業分野

「食料・農業・農村基本法及び基本計画」の政策展開に沿った資金供給を通じ、農業者の皆さまの意欲と創意工夫を活かす経営改善の取組みを積極的に支援しています。

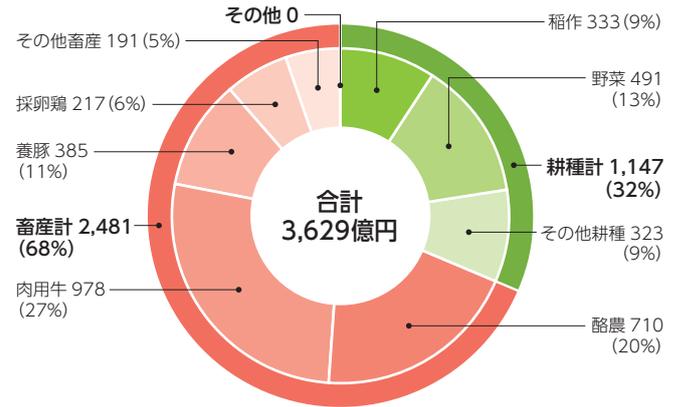
融資実績（令和3年度）



農業者向け資金^(注)の営農類型別件数



農業者向け資金の営農類型別融資額（単位：億円）



(注) 農業者向け資金とは、農業者が経営を維持・発展するために利用する資金。農業の融資実績に記載の資金のうち、「農業基盤整備資金」「担い手育成農地集積資金」及び「農林漁業施設資金（共同利用施設）」を除いた資金。

スマート農業導入による地域の農業生産基盤維持・拡大を支援

A町では酪農が盛んでしたが、近年高齢化に伴い廃業する農家が増加し、地域の生産基盤維持が課題でした。そこでA町の酪農家2戸と地元の農協は共同出資し、新規法人Bを設立。補助事業を活用して大規模牛舎を建設、搾乳ロボット等を導入してスマート農業を実現しました。事業の立ち上げに当たり、農協・町・普及センターが一体となって支援。農林水産事業は事業性や政策性などを評価し、設備導入などに必要な資金を融資しました。

新牛舎では搾乳ロボットにより搾乳作業が効率化され、少人数で多頭数の牛を飼養することが可能になりました。また、町では就農支援制度の充実により、町外からの新規就農者の確保に力を入れています。今後就農を検討している方の研修農場としても、同法人の農場を活用予定であり、地域の農業経営基盤維持・発展に貢献しています。

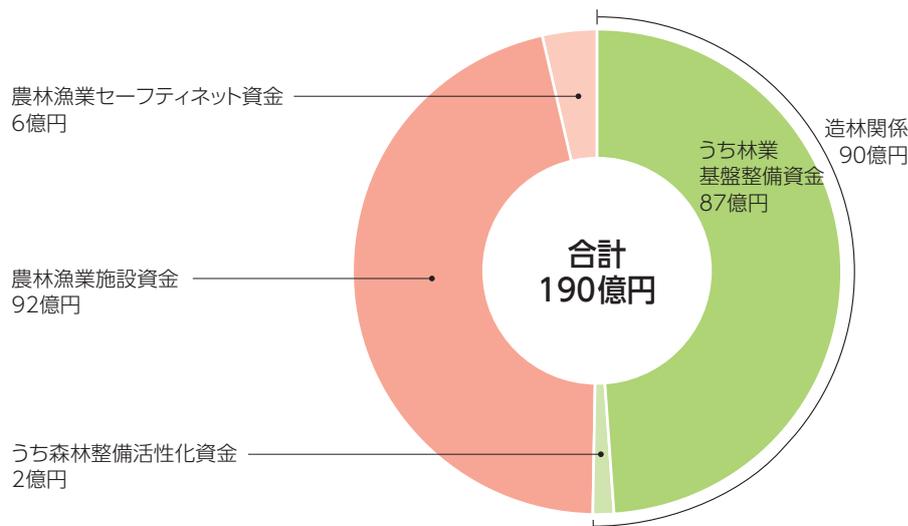


新牛舎と給餌中の牛

林業分野

「森林・林業基本法及び基本計画」の政策展開に沿った資金供給を通じ、多面的機能を有する森林や国産材の供給・加工体制の整備を積極的に支援しています。

融資実績 (令和3年度)

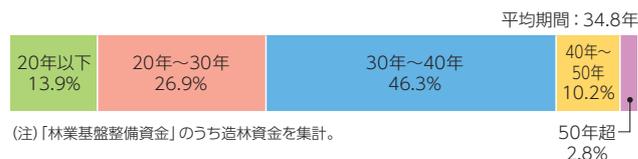


資本回収が長期に及ぶ林業者の皆さまへの融資を担っています

森林の育成には一般的に50年ほど必要で資本回収が超長期となります。

そのため、農林水産事業は伐採までに必要な超長期の資金を供給し、林業経営を支援しています。

返済期間別の融資状況 (令和3年度・林業^(注))



木材の有効活用に取り組む事業者を協調して支援

戦後、人工林の蓄積量は年々拡大し、大径木の供給が増加していますが、大径木は製材にあたり反りや曲がりが生じやすいことなど品質や強度の懸念もあり、利用が限られています。原木共販事業や森林整備事業を行うC社は、国産大径木の有効活用を図るため、製材前の原木の熱処理施設を導入。内部応力の緩和に効果がみられ、口径が40cmを超える大径木でも生産性の向上が見込めたことから、補助事業を活用した熱処理施設の増設を計画し、農林水産事業と民間金融機関に相談しました。

農林水産事業と民間金融機関は、当地域は関係者が一体となって森林資源の循環や林業・木材産業の再興に取り組んでいること、また、集中豪雨など自然災害の影響を受けながらも反転攻勢に取り組む前向きな事業計画は地域林業への貢献にもつながると判断し、協調して施設導入資金を融資しました。同社はこの事業を通じて国産大径材の高付加価値化を推進し、地域の雇用創出や林業振興につなげる取組みを進めていく計画です。

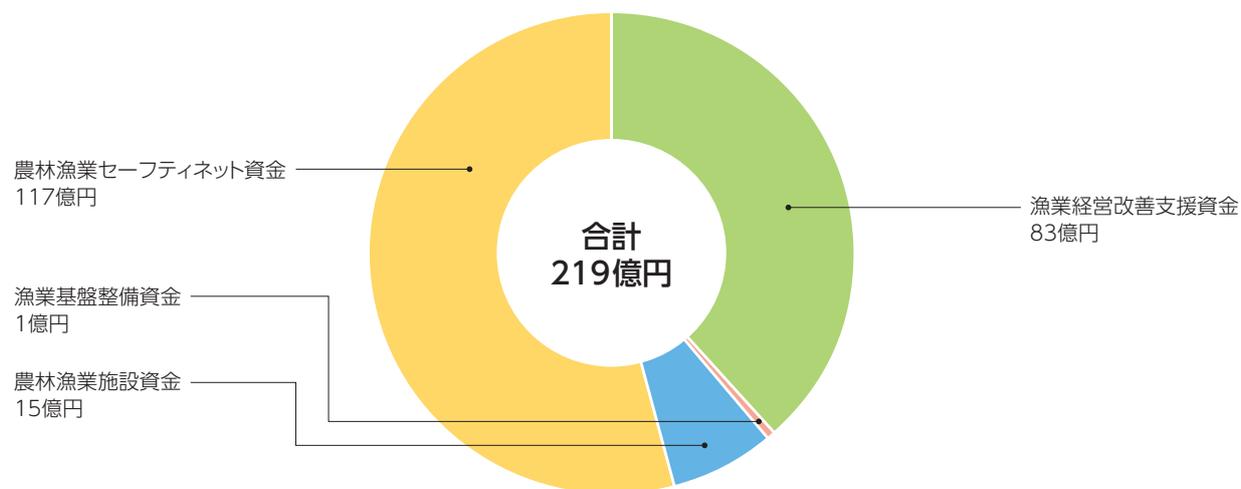


熱処理された原木と熱処理施設

漁業分野

「水産基本法及び基本計画」の政策展開に沿った資金供給を通じ、水産物の安定供給や水産資源の持続的利用を確保するための取組みを積極的に支援しています。

融資実績（令和3年度）

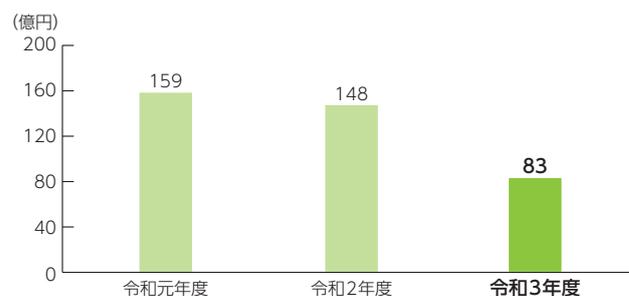


漁業の担い手を支援しています

「漁業経営改善支援資金」は、漁業の担い手の経営改善を総合的に支援する融資制度です。

令和3年度の「漁業経営改善支援資金」の融資実績は83億円となりました。

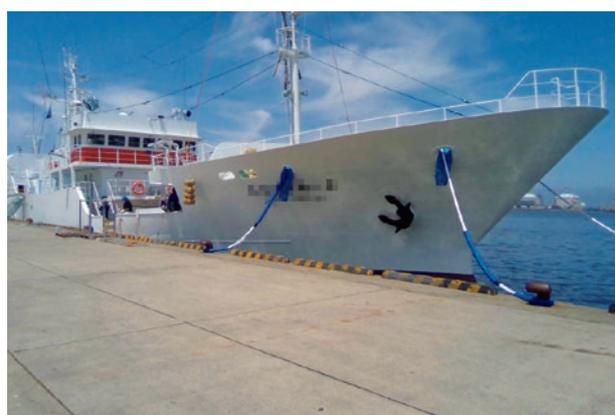
「漁業経営改善支援資金」の融資実績



老朽化した漁船の新船建造を協調して支援

D社は遠洋マグロの他、沖合底引き漁、イカ釣漁、底刺し網漁を営む漁船漁業者です。同社は近年、水産業を取り巻く経営環境が厳しくなっていることから、漁業経営の安定化・効率化を図ることが課題でした。そこでD社では老朽化し修繕費が上昇していたマグロ船について、新船を建造し更新することを計画。民間金融機関及び農林水産事業に相談しました。

民間金融機関と農林水産事業は、新船建造により操業の効率化・コストダウンが図られ、地域の水産業活性化にも資する事業として、協調して必要な設備資金を融資しました。船体を大きくしたことで、作業スペース確保による安全性向上及び乗組員の船室拡大による居住性向上を実現。乗組員の確保と定着につなげ、持続可能な漁業の実現を目指しています。

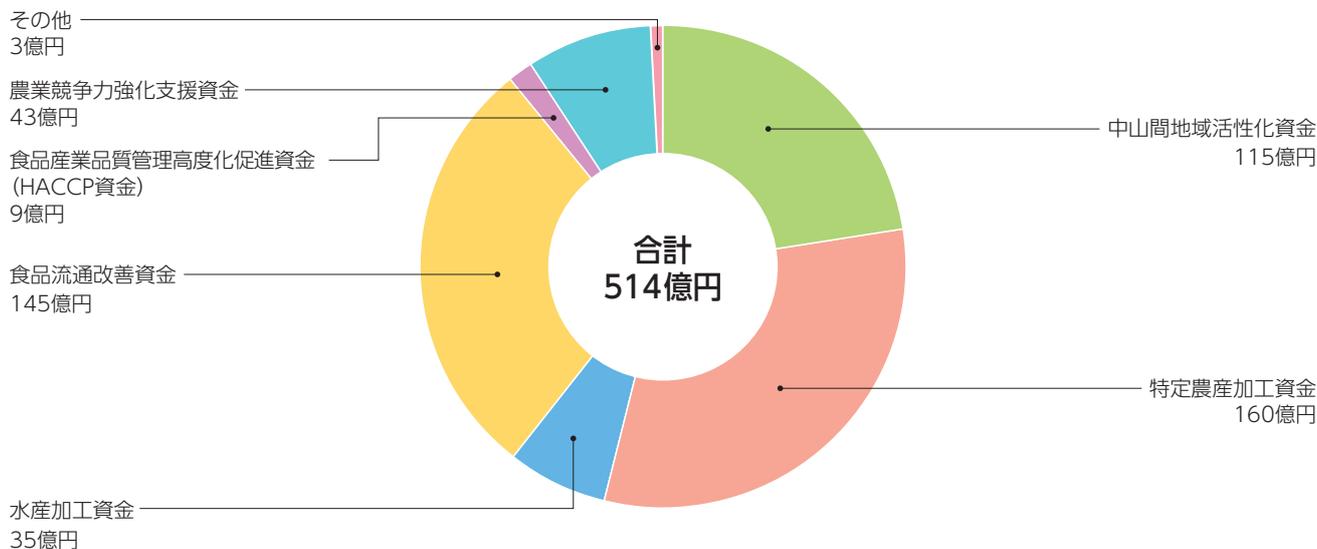


新造した漁船

加工流通分野

国産農林水産物を取り扱う加工流通分野への資金供給を通じ、原材料の安定供給と付加価値向上を図るための取組みを積極的に支援しています。

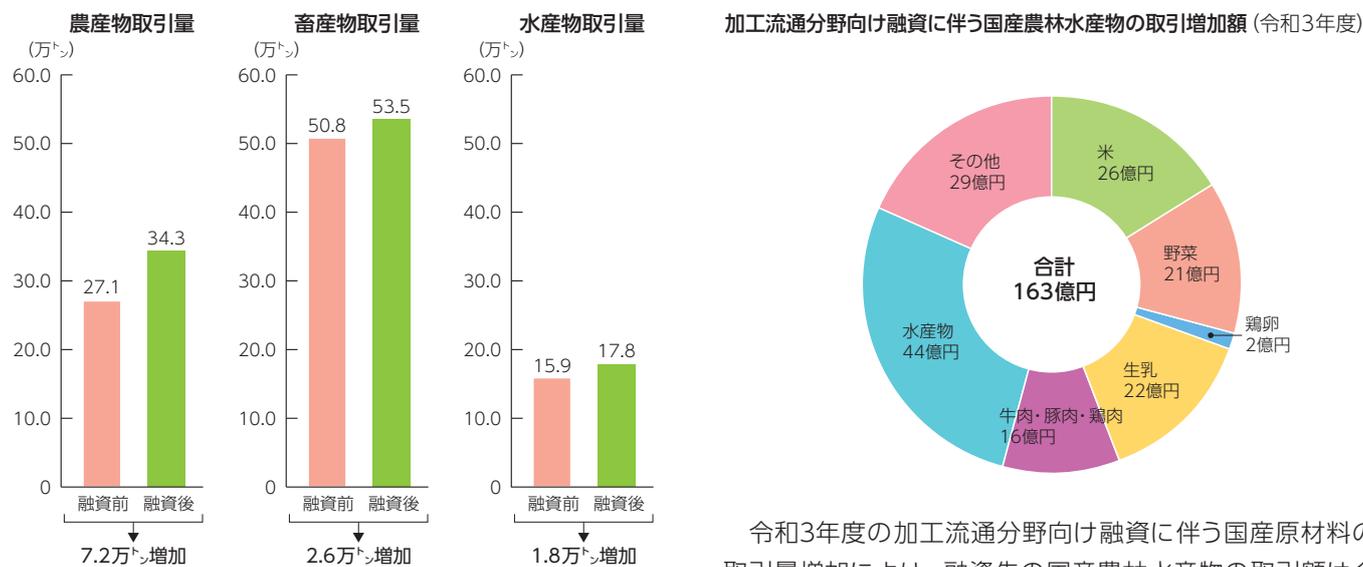
融資実績（令和3年度）



国産農林水産物の利用促進に貢献しています

加工流通分野向け融資は、国産の農林水産物を原材料として使用又は商品として取り扱うことを要件としており、国産農林水産物の利用の促進につながっています。令和3年度の融資による効果を試算したところ、今後5年間で国産農林水産物の取引量が約11.7万トン増加すると推計されます。

なかでも、「中山間地域活性化資金」「食品流通改善資金（食品等生産製造提携型施設、食品等生産販売提携型施設）」は、国産農林水産物の取引量増加を融資の要件としており、農林漁業と食品産業の連携促進に貢献しています。



(注)・取引量は単位未満を切り捨てています。
・「融資後」の取引量は推計値です。

令和3年度の加工流通分野向け融資に伴う国産原材料の取引量増加により、融資先の国産農林水産物の取引額は今後5年間で163億円増加すると推計されます^(注)。

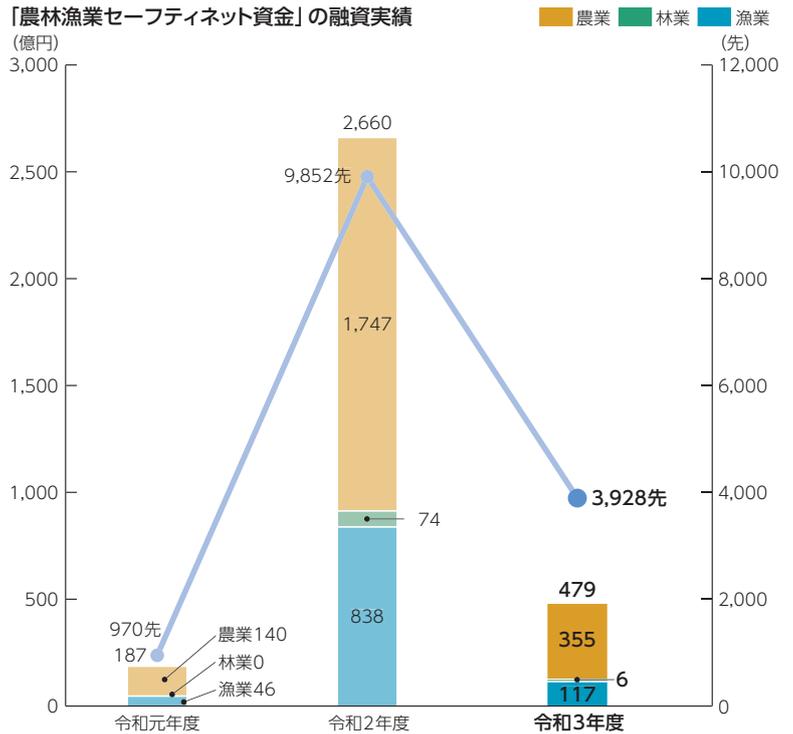
(注)目標時取引見込総額(単年度分)－実績時取引総額(単年度分)。

セーフティネット機能の発揮

災害や経営環境の変化に対応したセーフティネット機能を発揮しています

地震、台風、津波などの自然災害や家畜伝染病、農林水産物の価格下落などの影響により、一時的に経営が悪化した農林漁業者の皆さまに長期運転資金をはじめとする融資を通じた機動的な支援を行い、セーフティネット機能を発揮しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け収入が減少した農林漁業者の皆さまや、大雨などの自然災害、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病により被害・影響を受けられた農林漁業者の皆さまに対し、融資をはじめとした支援を実施しました。機動的なセーフティネット機能の発揮に取り組んだ結果、「農林漁業セーフティネット資金」の融資実績は479億円となりました。



相談窓口設置について

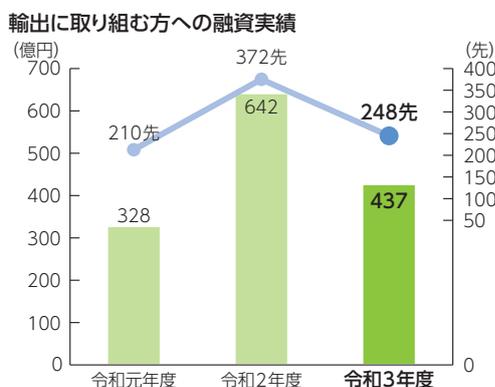
新型コロナウイルス感染症のほか、地震、台風といった自然災害や、家畜伝染病などにより被害・影響を受けた農林漁業者などの皆さまに対して、随時本支店に特別相談窓口を設置し、融資や返済に関するご相談に応じています。

令和3年度は、令和3年8月11日からの大雨に伴う災害や高病原性鳥インフルエンザ関連、コメの価格下落、生乳需給緩和に関する相談窓口などを設置しました。

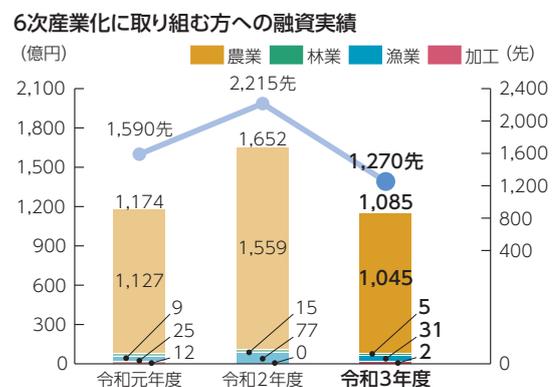
輸出・6次産業化支援

輸出や6次産業化の取組みを支援しています

農林漁業者や食品産業の皆さまが、自らの経営改善や国内農林漁業の振興のために、海外へ国産農産物やその他加工品を輸出する場合に必要な資金を、令和2年度に創設した農林水産物・食品輸出促進資金制度ほか各種融資制度や情報提供により支援しています。また、農林漁業者の6次産業化の取組みについても各種融資制度や情報提供により支援しています。



令和3年度の輸出により経営改善に取り組む方への融資実績は、248先(前年度比67%)、437億円(同68%)となりました。



令和3年度の6次産業化により経営改善に取り組む方への融資実績は、1,270先(前年度比57%)、1,085億円(同66%)となりました。

酒類輸出拡大に向けた施設整備を協調して支援

老舗の酒造業者E社は、日本酒のほか焼酎、地ビールなど幅広い商品を製造しています。同社は国内での酒類需要低迷を海外展開の好機ととらえ輸出事業を開始し、中国やアメリカ、フランスなどに輸出を行ってきました。

しかし、海外では高度な品質管理や鮮度管理が求められる一方、同社の工場ではISO22000の認証を取得していないことから、商談が進まないケースが目立ってきました。

そこで、同社はISO22000の認証取得が可能な施設を補助事業を活用して整備することで生産性と品質の向上を図り、輸出量増加につなげることを企図し、民間金融機関及び農林水産事業に相談。国産農水産物を原料とした食品の輸出拡大に向けた取組みとして、農林水産事業は建物改修と瓶詰ライン更新に必要な資金を民間金融機関と協調して融資しました。同社は日本酒をはじめとした商品の輸出拡大を本格化させています。



更新した瓶詰ライン

新規就農・農業参入支援

新規就農や農業参入の取組みを支援しています

新たに農業経営を開始する方、新たに農業に参入する方を、認定新規就農者の方にご利用いただける「青年等就農資金」をはじめとした各種融資制度や情報提供により支援しています。

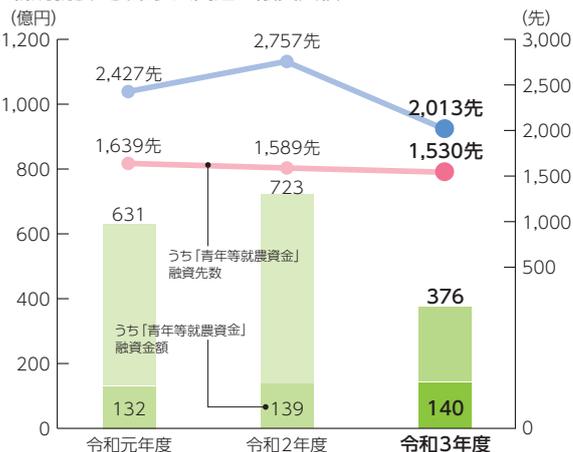
〔新規就農、農業参入関連の融資実績〕

令和3年度の新規就農、農業参入関連の融資実績は2,013先(前年度比73%)、376億円(同52%)となりました。

平成26年度から取扱いを開始した「青年等就農資金」^(注)の融資実績は1,530先(前年度比96%)、140億円(同101%)となりました。

(注)新たに農業経営を営もうとする青年等であって、市町村から青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者の方を支援する資金です。

新規就農、農業参入関連の融資実績



女性経営者が肉用牛繁殖経営を事業承継

専門学校での同級生であったFさんとGさんは、複数の畜産農家での勤務を経て、独立を視野に入れ、H牧場で研修生として勤務していました。

FさんとGさんは、研修後の独立についてH牧場に相談。H牧場の経営主は、父母の高齢化が進み、現状の規模で経営を維持していくことに不安を抱えていましたが、二人の仕事への向き合い方や人柄に触れ、この二人と共同で経営していくことを検討。H牧場は、二人に対し、母牛の譲渡と、牛舎の一部賃貸という、家族経営を超えた新たな独立方法を提案。二人もそれに応じる形で、独立しそれぞれの経営をスタートさせることになりました。農林水産事業は、これらの譲渡に関する資金を融資し、円滑な経営開始に向け支援を行いました。二人は今後も、H牧場と協力し、規模拡大などに意欲的に取り組んでいく予定です。



独立するFさんGさん及び、連携するH牧場の皆さま